

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

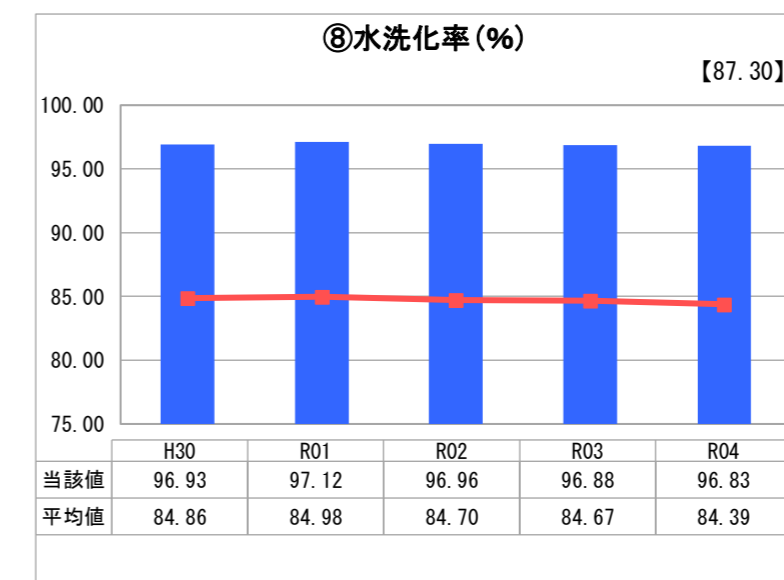
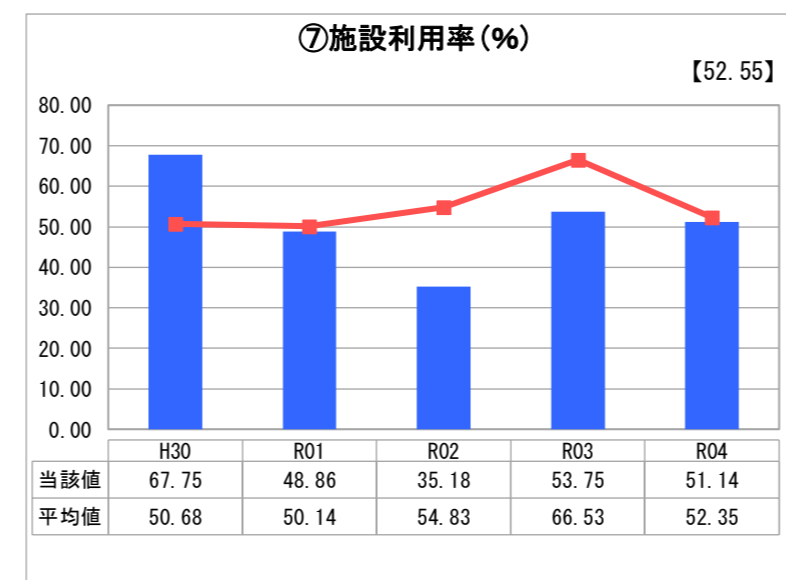
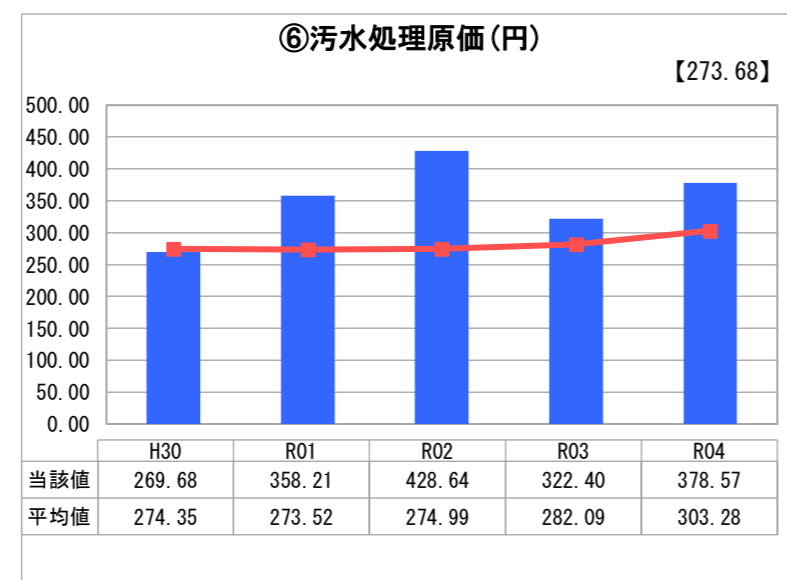
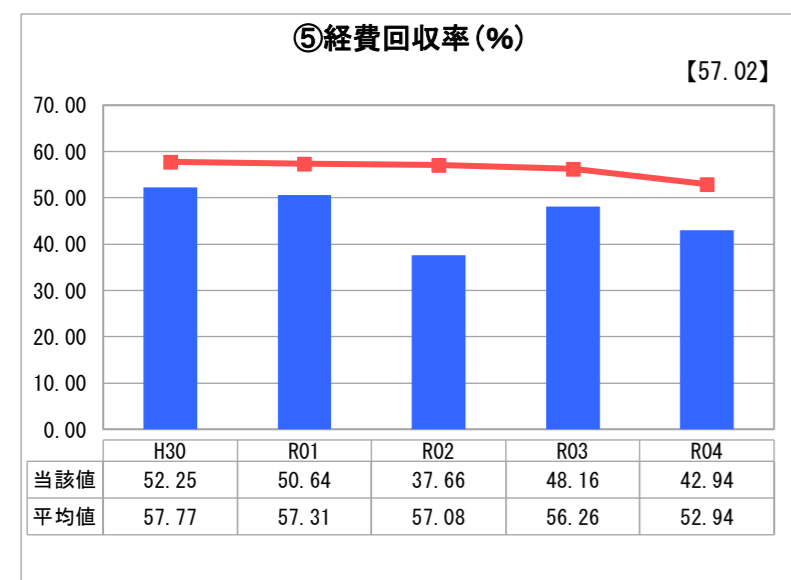
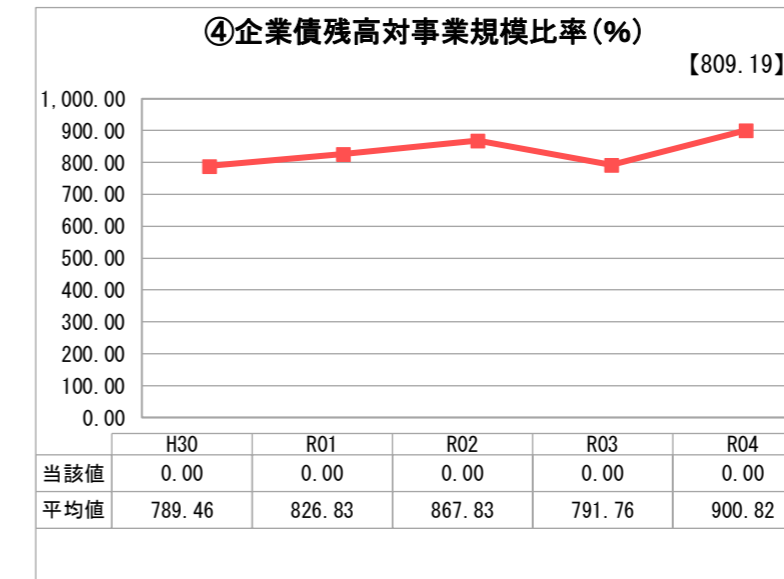
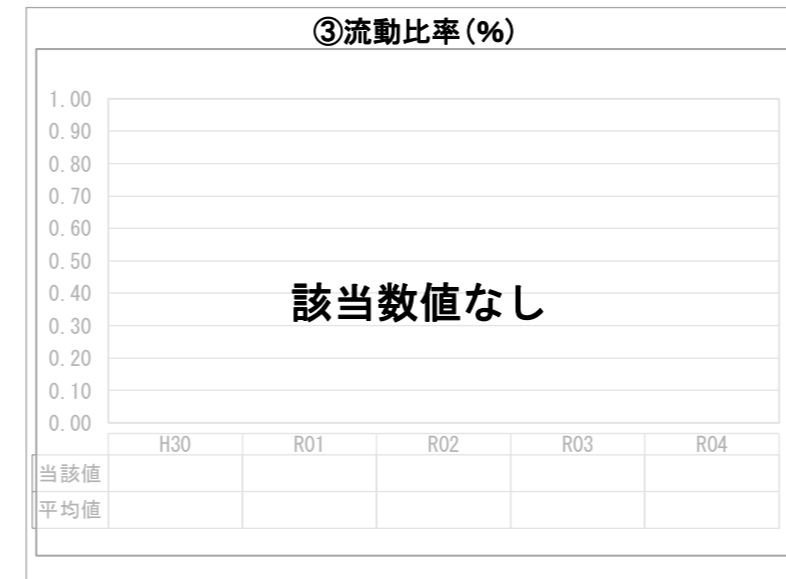
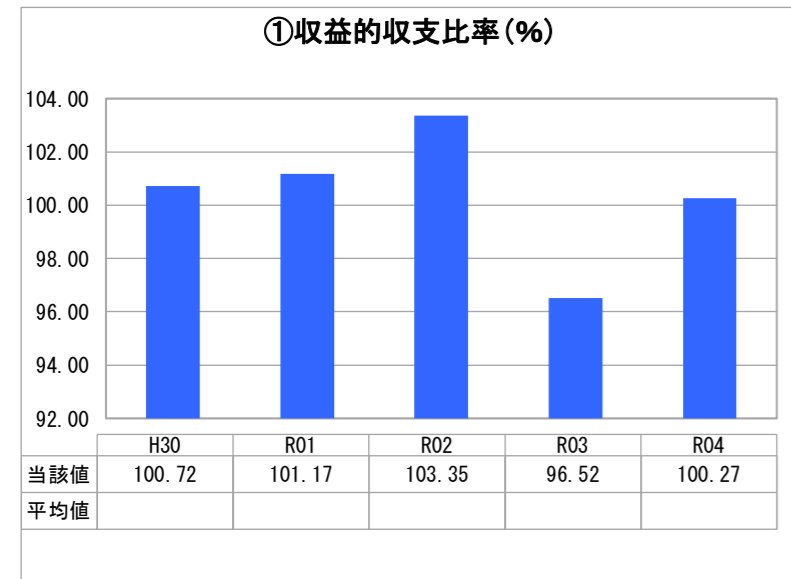
岐阜県 垂井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.57	100.00	5,500

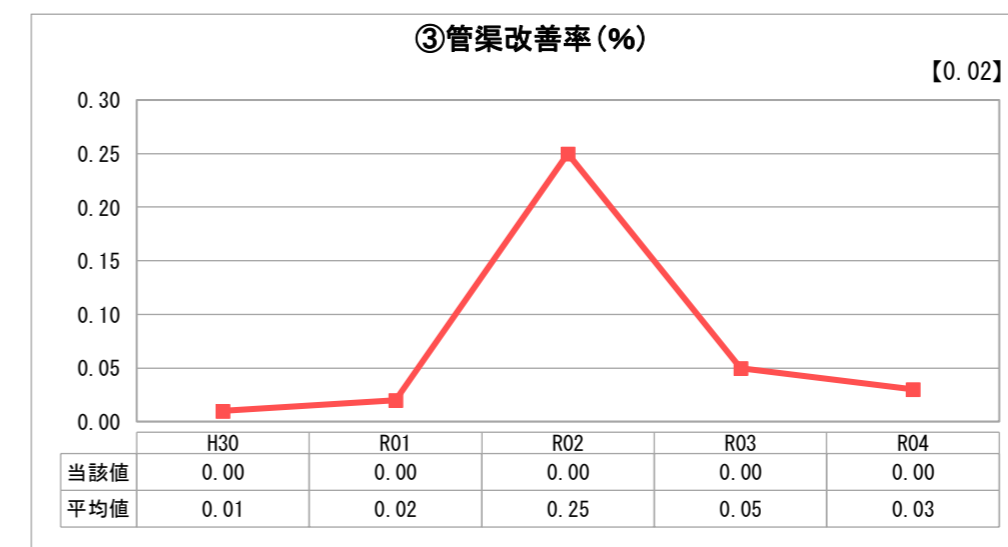
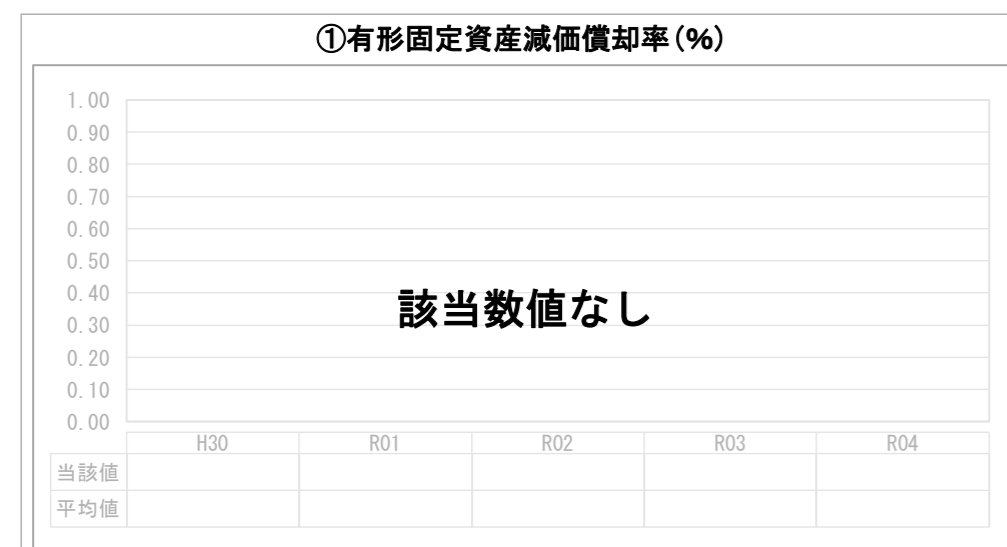
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,255	57.09	459.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
410	0.17	2,411.76

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、今年度100%を上回りました。令和12年度に企業債の償還は終了しますが、事業規模が小さく、人口減少が想定されるため、使用料は今後も減少する見込みです。必要最低限の維持管理に努め、更なる経費削減も厳しい状況であり、一般会計からの繰入金に依存している状況です。

④企業債残高対事業規模比率については、全額一般会計からの繰入金で負担しているため数値が0となっています。この状況は、地方債の償還が終了する令和12年度まで続きます。

⑤経費回収率については、電力価格の高騰により昨年度より減少しました。汚水処理に係る費用が使用料だけでは賄うことができず、繰入金で補填している状態が続いています。

⑥汚水処理原価については、電力価格の高騰により昨年度より増加しました。維持管理費の増加と人口減少により今後も増加していくものと考えられます。

⑦施設利用率については、人口減少により、類似団体よりやや下回っています。  
(晴天時平均処理水量を訂正したため R2 51.14%)

⑧水洗化率については、96%以上となり類似団体を上回っています。区域内の整備が完了しているため、これ以上の向上は見込めない状況です。

### 2. 老朽化の状況について

当町には2つの農業集落排水施設があります。北部第一農業集落排水施設(梅谷・敷原地区)は平成6年度に、伊吹農業集落排水施設(伊吹地区)は平成13年度にそれぞれ供用開始をしています。施設は比較的新しいですが、今後は施設等の老朽化による電気・機械設備等大幅な更新が考えられます。

## 全体総括

今後は、施設の老朽化により設備更新等を迎えるため、更なる健全経営が求められます。現状では、大幅な収益増加は見込めないことから、今後も一般会計からの繰入金に依存せざるを得ない状況です。将来、財源を確保するため料金体系を検討していく必要が生じてきますが、経営状況を把握し、効率的・持続的で安定した経営に努めていきます。また、経営状況を正確に把握するために令和6年度から公営企業会計へ移行します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。